



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第10号

令和8年2月19日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

◆学校評価について◆

校長 廣岡 徹彦

学校評価の集計がまとまりましたのでお知らせします。昨年度（令和6年度）の結果も載せましたのでご覧ください。この結果をしっかりと分析し、令和8年度の学校運営に生かせるよう、次年度対策会議等で検討していきたいと思っております。ご協力、ありがとうございました。

令和7年度 学校評価 項目	R6年度		R7年度	
	生徒	保護者	生徒	保護者
貝塚中の学校教育目標や目指す学校像を知っていますか。	3.04	2.15	3.04	<u>1.99</u>
貝塚中は、生徒にとって生活しやすい雰囲気だと思いませんか。	3.28	3.22	3.28	<u>3.17</u>
生徒は、学校生活に満足していると思いませんか。	3.30	3.08	3.32	3.15
生徒は、あいさつがきちんとできていると思いませんか。	3.40	3.23	<u>3.37</u>	<u>3.21</u>
生徒は、身だしなみがきちんとしていると思いませんか。	3.44	3.42	<u>3.42</u>	3.43
生徒は時間が守れていると思いませんか。	3.26	3.24	<u>3.21</u>	<u>3.16</u>
生徒は、授業内容を理解していると思いませんか。	3.15	2.73	<u>3.07</u>	2.85
生徒は、自主的に学習に取り組んでいると思いませんか。	2.96	2.65	<u>2.91</u>	<u>2.64</u>
学校は、わかる授業の工夫をしていると思いませんか。	3.43	2.75	<u>3.35</u>	2.79
学校は、生徒の学習成果を適切に評価していると思いませんか。	3.41	3.09	<u>3.40</u>	3.16
生徒は、思いやりの心が育っていると思いませんか。	3.34	3.42	<u>3.30</u>	<u>3.40</u>
生徒は、体育祭等の学校行事に積極的に参加していると思いませんか。	3.53	3.54	<u>3.48</u>	3.63
生徒は、委員会等の係活動に積極的に取り組んでいると思いませんか。	3.56	3.47	<u>3.47</u>	3.50
生徒は、祭など地域の行事に積極的に参加していると思いませんか。	2.88	2.54	3.06	2.78
生徒は、部活動に意欲的に参加していると思いませんか。	3.42	3.42	3.49	3.54
生徒は、学校からの手紙等きちんと家庭に届けていると思いませんか。	3.25	3.03	<u>3.19</u>	3.03
学校は、教育環境の整備に力を入れていると思いませんか。	3.23	2.95	3.26	<u>2.86</u>
学校は、清掃が行き届いていると思いませんか。	3.17	3.13	3.17	<u>3.07</u>
学校の体制は、しっかりとしていると思いませんか。	2.94	3.01	2.98	<u>2.98</u>
学校は、けがや病気に適切に対応していると思いませんか。	3.58	3.34	<u>3.54</u>	3.54
学校は、生徒の間違った行動を厳しく指導していると思いませんか。	3.43	3.03	<u>3.38</u>	3.03
朝読書の時間は、生徒のプラスになっていると思いませんか。	3.13	3.10	<u>3.05</u>	3.13
保護者負担の経費など、きちんと会計報告がされていると思いませんか。		3.61		<u>3.58</u>
お子さんは、家庭学習を毎日行う習慣が身についたと思いませんか。	2.82	2.50	<u>2.79</u>	2.60
ドリルやKタイムは、お子さんにとってプラスになっていると思いませんか。	2.95	2.99	<u>2.93</u>	<u>2.92</u>

◆学校評価より見えてくるもの◆

<今年度の実態>

本校は、今年度 42 年目のスタートを切りました。開校時からの校訓「自主・創造・練磨」、そして学校教育目標「豊かな心と確かな学力をもち健やかに生きる生徒の育成」、目指す学校像「明るく元気な挨拶、花と笑顔と歌声の響く、地域から愛される学校」を目標に、日々学校運営を行ってきました。令和の変化の大きい中で学校生活を送っています。生徒は、生活習慣の挨拶や身だしなみ、時間を守る等の基本的な生活習慣に関しては、昨年度との比較で高い評価を得ることはできませんでした。地域活動として、お祭り、地域行事へ参加や取組に関しては、昨年度より向上しました。また、学校生活の満足度に関しては、生徒と保護者ともに微増でした。大きく項目別で比較すると 7 年度は、生徒評価では 24 項目中 7 項目で同一か上回り、保護者では 25 項目中 14 項目が同一か上回る結果になりました。

学習に関する項目では、保護者の評価で「授業内容を理解している」「自主的に学習に取り組んでいる」「わかる授業の工夫をしている」の 3 項目が 4 段階評価で 2 点台という残念な結果でした。生徒評価では「自主的に学習に取り組んでいる」についても 2 点台でした。

放課後の活動、委員会、部活動、行事、地域行事への参加等では、保護者の評価が生徒と比較して、昨年度の数値を上回りました。

<令和 8 年度へ向けて>

○確かな学力をもつ生徒の育成について

学習に遅れがちな生徒が、通常の授業についていけるよう、「わかる授業の推進」、「ギガタブの発展的活用」を通して、授業の目標を明確化し、まとめをしっかりと行うなどの取組を継続していきたいと考えています。また、「放課後の学習相談の内容の充実」や「家庭学習への取組」を進め、家庭学習の定着を図る必要があります。保護者面接等を通して家庭との連携も更に深めていきます。そして、義務教育後の個々の将来を見通した様々な進路先について情報を共有し、生徒一人一人が将来を見通せるようにすることで、学力の底上げにつなげたいと考えます。

また、朝の 10 分間を有効に活用し、読書や学力の向上を目的とした「G タイム」の取組、また、言語活動の充実を目的とした「K タイム」などの取組を引き続き行います。これらは実施して 3 年目になるため、来年度はその成果を検証する 1 年と位置づけています。

○健やかな身体をもつ生徒の育成について

現在、年間 30 日以上長期欠席者が増加傾向にあります。思春期には、心身のバランスを崩したり、人間関係で悩んだりしやすい時期です。そのため、教育相談やカウンセリング等の充実、外部機関の活用を進めていきます。また、生徒が悩み等を話しやすいよう、生徒と教師の人間関係を更に深めるとともに、家庭との連携を継続し、長期欠席や人間関係等の悩みの解消につなげていく必要があります。

次に、近年深刻な社会問題になっている SNS 等に関するトラブルが深刻化し、問題解決に多くの時間を要しているのが現状です。家庭での日頃の状況確認や学校との連携をより一層強めていく必要があります。

最後になりますが、施設環境面では、校舎、体育館などの大規模改善が令和 8・9 年度に計画されており、体育館の冷暖房工事も予定されています。

また、部活動は、国の方針により地域展開実証事業が進められており、土日祝の完全実施に向けて本格的に実施されていく見込みです。今後も、生徒が健康的な生活習慣を身に付け、挨拶や身だしなみ、時間を守る大切さを学校生活の中で学習、行事、部活動、地域活動を通して学べるよう取り組んでいきたいと思っております。